

入学して早くも2か月が経ちました！

今回は授業等の様子について紹介したいと思います。  
周産期学では島根県立中央病院：岩成治先生から講義を受け、「記憶に残る工夫」として、時には屋外で講義をすることもありました♪



授業の合間の10分休憩ではみんな積極的に先生に質問します。先生も親身に教えて下さるのでみんなの学習意欲が大爆発しています。10分ではおさまりません♪



毎日やることは盛りだくさんです。

助産診断のアセスメント・ケアプランの立案、  
周産期における正常・異常、妊産褥婦等についての発表資料、健康教育指導案などの作成・・・

夜10時までラウンジが開放されているので、  
助産学生は毎日のように夜遅くまで残って、みんなで協力し合ってさまざまな学習を行っています。

島根県で一番看護に関する本が揃っているという出雲キャンパスの図書館にいつも感謝しています。(写真はラウンジの様子です。)

実習施設も6月初旬に決まり、総合助産診断技術学等の演習では分娩介助の技術を学んでいます。演習の様子をビデオで撮影して、自分たちの分娩介助を客観的に見たりします。

毎日のように放課後に必死で練習中です！



毎日大変だけど、  
とっても充実した日々を送っています！  
実習に向けて頑張るぞ！